

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月24日

計画の名称	石川・富山における広域的な産業物流活性化計画（重点）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	富山県												
計画の目標	<p>石川県と富山県にはそれぞれ、「能登空港」や「金沢港」そして「富山空港」や「伏木富山港」といった物流の拠点となる施設を数多く有しており、これらに加え、北陸新幹線の金沢開業、能越自動車道の整備促進等、石川県と富山県に新たな高速ネットワークが誕生することとなる。</p> <p>石川・富山の主力産業である機械産業の事業活動を促進するための基盤整備等を実施することにより、これらの広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることで産業経済活動の競争力を向上させる。</p> <p>とやま呉西圏域連携中枢都市圏における物流効率性を高めることにより、地場産業の振興を図り、持続可能な地域経済を構築する。</p> <p>能登半島地域における物流効率性を高めることにより、地域経済の自立的発展・活性化を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	80	A	80	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	<p>・【石川県・富山県 共通目標】 機械・金属の製造品出荷額 H25：21,015億円 H31：24,910億円（3,895億円増）</p> <p>【石川県・富山県 共通目標】 機械・金属の製造品出荷額                      （機械・金属の製造品出荷額の増加）=（評価時点の機械・金属の製造品出荷額）-（H25の機械・金属の製造品出荷額）</p>	21015億円	23782億円	24910億円
2	<p>・【富山県 目標】 富山県の医薬品生産金額を6,212億円(H25)から6,840億円(H31)に増加</p> <p>【富山県 目標】 富山県の医薬品生産金額                      （医薬品生産金額の増加）=（評価時点の医薬品生産金額）-（H25の医薬品生産金額）</p>	6212億円	6680億円	6840億円
3	<p>・能登半島地域（氷見市）における機械・金属の製造品出荷額を284億円（H25）から319億円（H31）に増加</p> <p>能登半島地域（氷見市）における機械・金属の製造品出荷額                      （機械・金属の製造品出荷額の増加）=（評価時点の機械・金属の製造品出荷額）-（H25の機械・金属の製造品出荷額）</p>	284億円	307億円	319億円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	(国) 415号 谷屋大野バイパス	バイパス L=0.60km	氷見市						80	-		
		旧番号2-A1-25																		
											小計						80			
											合計						80			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山県の独自の評価方法に準拠し土木部道路課にて評価を実施	令和4年3月（平成27年度～平成31年度の評価）
	公表の方法
	富山県のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	（国）415号谷屋大野バイパスの整備が、拠点施設である寺家工業団地と伏木富山港間のアクセス性など県を跨ぐ広域的な物流の効率化や、氷見市の沿線工業団地等との利便性が向上することが魅力となり、製造品出荷額の増加に寄与したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	（国）415号谷屋大野バイパスの整備と合わせ、能越自動車道の「北陸自動車道・東海北陸自動車道小矢部砺波JCTから七尾区間」がH27.2に全線開通し、新たに氷見南ICがH28.3に供用開始されたことにより、物流の効率化がより一層図られたと考えられる。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を執行し広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることで能登半島地域（氷見市）における産業経済活動の競争力の向上を図っていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	24910億円	道路整備と合わせ、能越自動車道の「北陸自動車道・東海北陸自動車道小矢部砺波JCTから七尾区間」がH27.2に全線開通し、富山県と石川県間の物流の効率化が図られたことにより、製造品出荷額の増加に寄与したと考えられる。
	最終実績値	26330億円	
2	最終目標値	6840億円	
	最終実績値	6937億円	
3	最終目標値	319億円	道路整備と合わせ、能越自動車道の「北陸自動車道・東海北陸自動車道小矢部砺波JCTから七尾区間」がH27.2に全線開通したことに加え、新たに氷見南ICがH28.3に供用されたことで物流の効率化がより一層図られたことにより、製造品出荷額の増加に寄与したと考えられる。
	最終実績値	435億円	